

## 第3回学校運営協議会 記録

### 1 日時

令和8年2月16日(月) 15:00~16:20 ※ 14:05~14:55 授業参観(6校時)

### 2 場所

本校中会議室

### 3 参加者

委員11名(欠席2名、代理出席1名)、副校長、事務長 計13名

### 4 内容(報告)

#### (1) 学校評価について

##### 【伊藤委員】

- ・回答しなかった保護者の中には否定的な意見を持つ方もいると思われる。保護者の納得を得ながら教育活動を進めてもらいたい。
- ・保護者の回答率は100%を目指すべきだと思う。

##### 【阪本会長】

- ・学校への評価として肯定的な意見が多いが、「主体的に学習に取り組んでいるか」との設問への回答について、他の設問に比べて、否定的な回答が多い。家庭学習の定着に課題があったり、受け身の姿勢で学習しているのかと考えられる。

#### (2) 令和7年度の教育活動(9月以降)について

(学校行事(J-PARC見学会、文化講演会、H×ACT、狂言とくすり講座、学びの祭典(冬)、部活動等)

##### 【佐藤委員】

- ・ハクフィ(校外学習)について、1年生が花巻市商工会議所に来て、意見交換をした。自ら課題を設定して熱心に取り組んでいて喜ばしいと思う。

##### 【阪本会長】

- ・学びの祭典(冬)で、岩手医大の教員から2年生に対してそれぞれの探究活動にアドバイスしたが、厳しめの指摘も改善するとよくなるポイントだと捉えてほしい。

##### 【木村副会長】

- ・J-PARC見学会、狂言とくすり講座は、阪本会長の支援により実現した貴重な機会であった。感謝する。

##### 【阪本会長】

- ・花巻北高校、岩手医大と協定を結んでいる合同会社Space Valueからの金銭的な支援があってできている。創立100周年までは支援をいただく方向だが、その後の継続も考えていく必要がある。花巻市のふるさと納税制度の活用なども考えられるのではないかな。

##### 【佐藤委員】

- ・同窓生の思いも強く、今年度は同窓会への多額の寄付があった。全国文芸コンクール最優秀賞などの活躍もあり、同窓会としても学校を支援していきたい。

##### 【阪本会長】

- ・部活動等で生徒が活躍すると遠征費もかかることが心配される。

##### 【佐々木校長】

- ・遠征費の金額が大きくなることについては、生徒減という状況もあり、苦慮している。
- ・岩手医大、Space Valueとの連携講座協定により、令和13年の100周年までを目途に支援をいただきながら、貴重な体験を生徒が出来ていることに感謝する。

### 5 意見交換(一人一言)

##### 【田村委員】

- ・現段階で3年生の3割程度が進路先を決定しているとのことだが、大学入試の大きな変わり目が来ていることを実感した。

##### 【佐藤委員】

- ・生徒たちが文武両道で自分の進路に向けて取り組んでいることを好ましく思う。H×ACTで生徒が地域に目を向けて取り組むことは、生徒の将来にいきることだと思う。
- ・師との出会いは人生を決め得る。先生方には、今後ともよろしくお願ひしたい。

#### 【佐々木裕委員】

- ・学校評価について、学校経営計画の重点目標に対して評価項目がそれぞれ1つということで、今年度の学校の取組に対して、生徒や職員がどう感じたか分かりにくい。評価項目の経年変化を見ていくことも大切だが、学校評価の質問内容が、学校が取り組んだ事柄にもっと関連付けられるとよいのではないかと感じた。

#### 【佐々木晋委員】

- ・授業を参観し、熱心に学習に取り組む姿が見られた。
- ・学校評価のアンケート結果について、いずれの項目も肯定的な回答が90%程度と高い。保護者の回答で肯定的な回答の割合は生徒のものよりも低い、「子どもを花巻北高校に入学させて満足している。」について肯定的な割合が高いのはよい。

#### 【木村副会長】

- ・別の会議の場で、大学でも生成AIを使う前提だという話を聞いた。AIの使い方を学ばせたり、生徒がどのようにAIを使ったのか教員が見抜く必要があったりと学校のあり方が変わっていくのだと感じている。

#### 【伊藤委員】

- ・花巻東高校の話聞く機会があったが、多額の支援を受け、卒業生の大きな活躍もあり、中学生への影響が大きいと感じた。県立高校は学校ごとの違いを出しにくい面もあると思うが、活動や運営のための資金集めも考えながら、特色を出して行ってほしい。
- ・本校OBは県内各所で活躍している。生徒が、地域の中核を担う人材になろうと思えるように、郷土愛を育んでもらいたい。先生方の今後の指導に期待したい。

#### 【青山委員】

- ・授業に参加したが、大きなイベントだけでなく、日々の授業も充実していると感じた。日々の先生方の努力に感謝したい。
- ・3年生は進路実現に向けて積極的に取り組んでいて、1、2年生は授業のグループワークが活発だった。主体性について、生徒の自己評価が低いと、学校評価のアンケート結果では、生徒の主体性が比較的高くない傾向があるのかも知れない。自己評価が高まると、アンケート結果も向上するのではないか。
- ・授業の様子を見て、既存の授業道具のほかにタブレットがあり、机が狭そうだと感じた。

#### 【阪本会長】

- ・岩手医大薬学部の定員割れや歯学部の入学者の多くが県外生であること、県内の薬剤師不足などから、地域を支える専門人材の不足を感じている。花高から地域を支える人材が輩出されることを期待する。
- ・生成AIを活用したある大会では優勝者が医学部卒で、半年ほどの学習で優勝したとのこと。専門性にアイデアが加わることで素晴らしい結果が出てくる。このことは探究活動にも言えると思う。
- ・主体的に学習するという事は、課題をどう解決していくかということ。花高で育てていってほしい点である。
- ・AIを使用すると、知らず知らずのうちに、他人の著作物を使ってしまうこともあり、AIとどう付き合っていくかが考えていくべきことである。田村委員いかがか。

#### 【田村委員】

- ・今年から講師をしている大学の授業でゲームの教材を使用した。AIを使うには、日本語がきちんとできると、よいプログラムができる傾向がある。
- ・AIに聞いたことの回答が正しいかは、どのような処理が行われたのか、コードを確認しないと分からない。分かれば世界が広がっていく。

#### 【佐々木校長】

- ・生徒も教員も取り巻く環境が変化していく中、来年度から本校では単位制が始まる。いただいた意見を参考にしながら学校を運営していく。